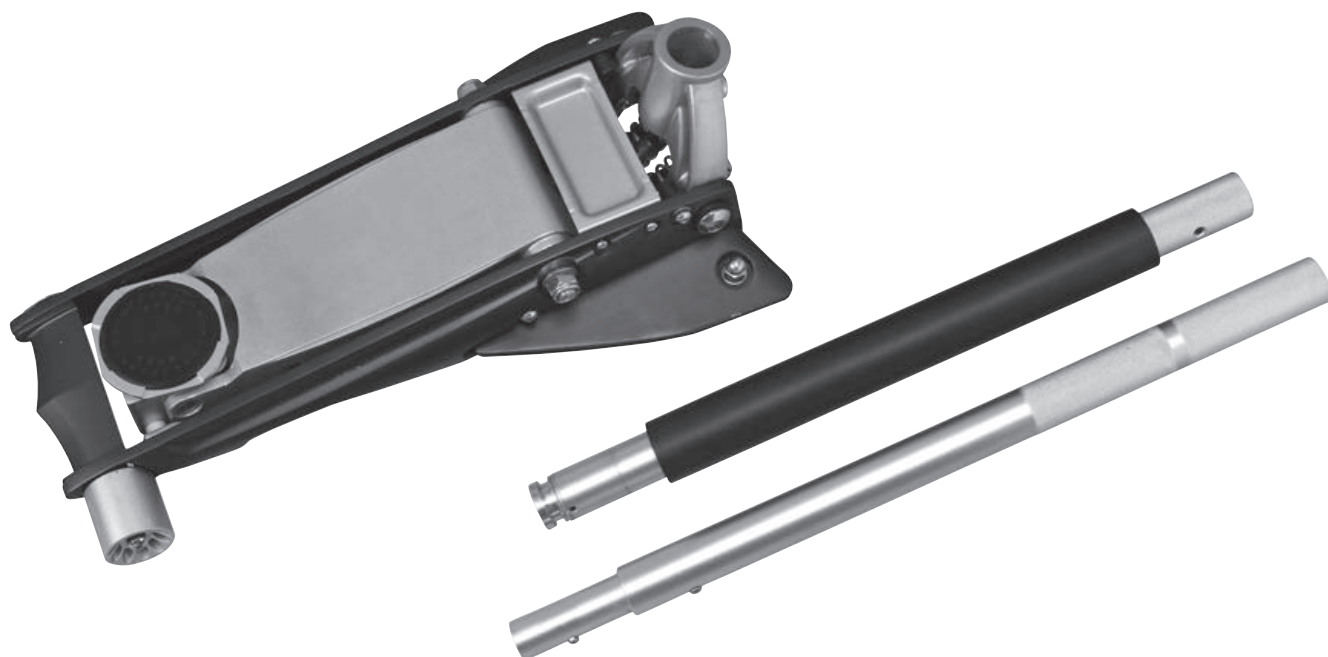
取扱説明書

モノタロウ

低床ダブルピストン アルミジャッキ(2t)

注文コード:07571016

このたびは、低床ダブルピストンアルミジャッキ(2t)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後まで読み、内容をよくご理解いただいた上で、ご利用いただきますようお願い申し上げます。
なお、お読みになった後も、お使いになる方がいつでもご利用できる場所に大切に保管してください。
また、ご使用中に使用方法が分からなくなった時など必要な時に毎回読み返してください。
ここで示しています注意事項は、本製品を正しく安全にご使用いただくためのものです。
本製品を使用する方はもちろん、周囲の方々や車両等への危害や損害を未然に防止することが目的です。
用途以外でのご使用、またこの取扱説明書に明記された内容を守らなかった場合に起きた事故・故障・修理その他の不具合についての責任は一切負いかねますのでご了承ください。
本製品は車両重量2t以下の車でご使用いただけます。

目次

1 安全にお使いいただくために

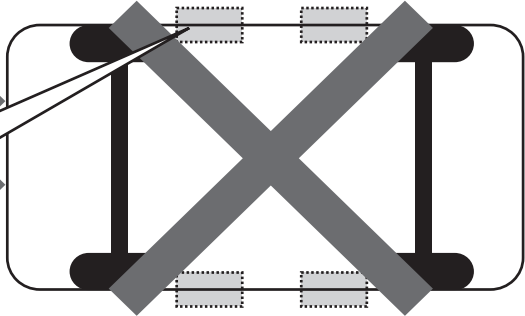
危　険　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が切迫して想定される内容をしめしています。

警　告　この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重症等の重大な障害に結びつく可能性があります。

注　意　この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、人的障害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

ご使用前の点検

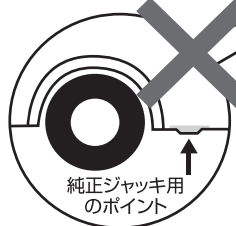
☆下記項目を必ず確認してからご使用ください。
☆ご使用になる度に、正常に作動するか必ず確認してください

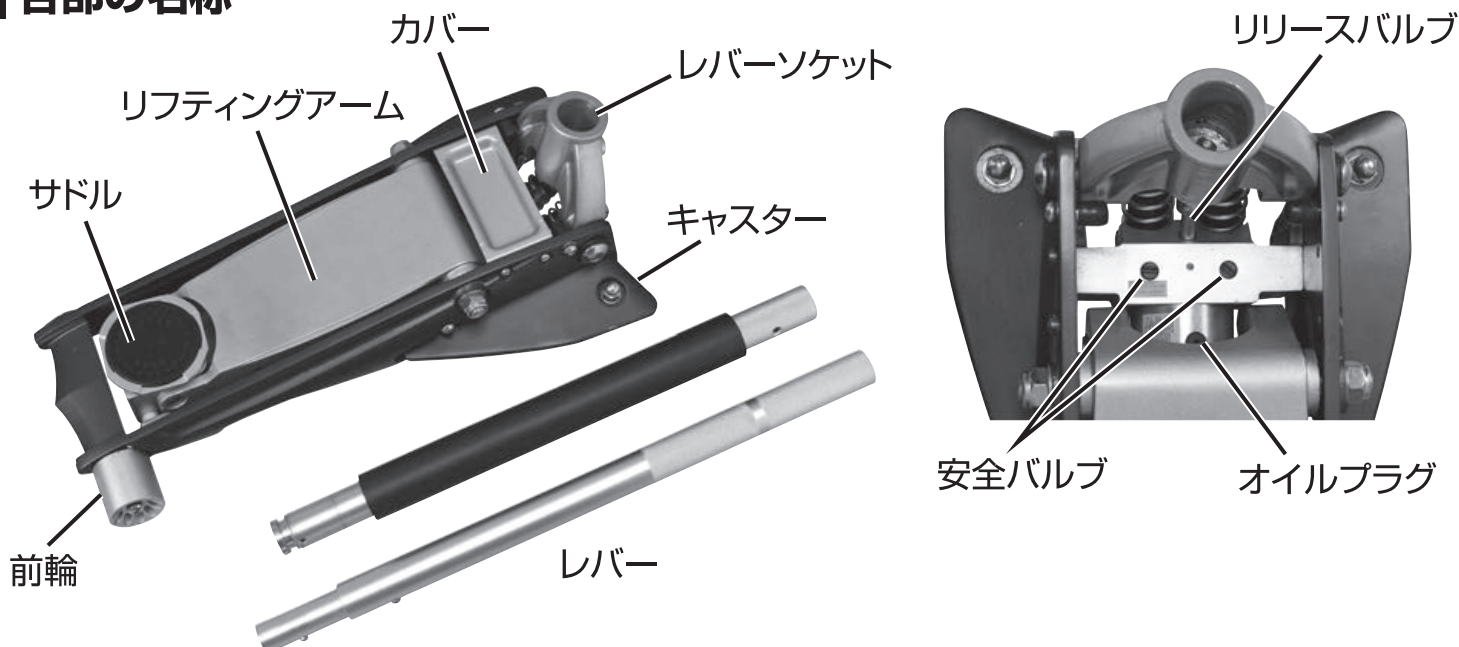
●ボディのゆがみ、錆び、亀裂、および各ネジのゆるみがないかどうか。
●ハンドルと本体との接合部分の確認、およびシリンダーのオイルもれがないかどうか。
●ポイント位置確認、および使用場所が平坦であるかどうか。

■ 使用上の注意

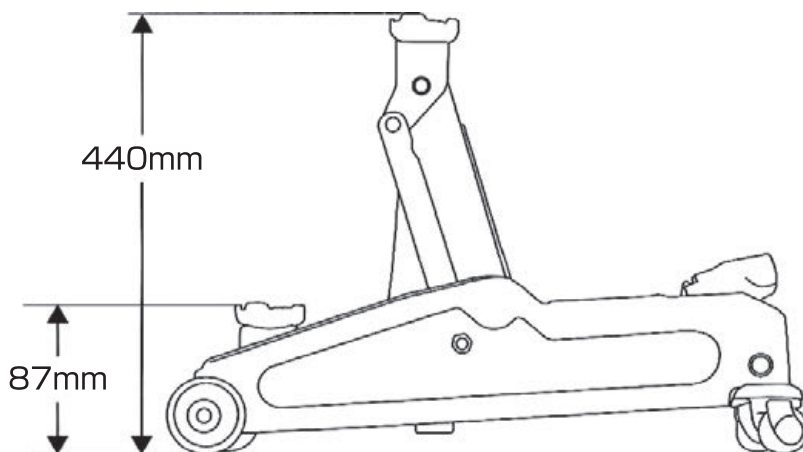
危　険　**本製品を使用することによるケガや重大な事故を未然に防ぎ、安全にお使いいただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。**

●本製品は自動車のタイヤ交換や整備のためのものです。本来の用途以外で使用しないでください。また、本製品を絶対に改造しないでください。
●ジャッキを使用する際は、車体の下や周りに人や物などがないことを確認してから作業を行ってください。また、ジャッキアップ中に車両の下に入らないでください。
●**本製品はジャッキアップするためにご使用いただくものです。ジャッキアップ状態を保持するためのものではありません。ジャッキアップした状態のままで保持させる際は、必ず別売のジャッキスタンドをご使用ください。**
●ジャッキを使用する前に、負荷のない状態でジャッキアップテストを行ってください。
●ジャッキに異常が見つかった場合(オイル漏れ、本体の変形等)は、使用をすぐに中止してください。そのまま使用すると重大な事故につながるおそれがあります。
●最大荷重(2t)を超える負荷で使用しないでください。
●リリースバルブは適正な荷重になる様に出荷時に調整されているため、絶対にさわらないでください。
●リリースバルブを緩める際は半回転(180°)以上回さないでください。故障の原因となります。
●ジャッキアップした状態で車両から離れないでください。
●ジャッキアップする際は、必ず平らで固い路面の上で行ってください。
●ジャッキアップする前に、必ず車のサイドブレーキを引き、ジャッキアップしない方のタイヤに輪止めをしてください。
●ジャッキポイントは車種によって異なります。自動車に添付の取扱説明書、または自動車メーカー・販売店等へ問合せし、必ず事前に確認してください。
●車両指定のジャッキポイントでジャッキアップする場合、ジャッキポイントの形状とサドルの形状が合っているかを必ず確認してください。形状が合わない場合に無理にジャッキアップするとジャッキポイントが破損するおそれがあります。
●電子制御サスペンション車の場合は、必ず自動車に添付の取扱説明書を確認してからジャッキアップをしてください。

必ずジャッキポイントが適切な位置か確認してからジャッキアップしてください。また、ジャッキポイントがわからない方は、使用前にカーディーラーおよび整備工場で確認してください。

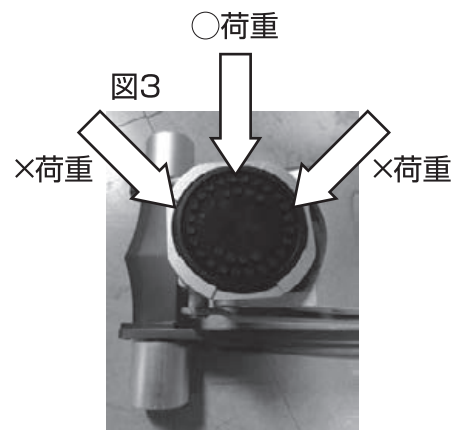
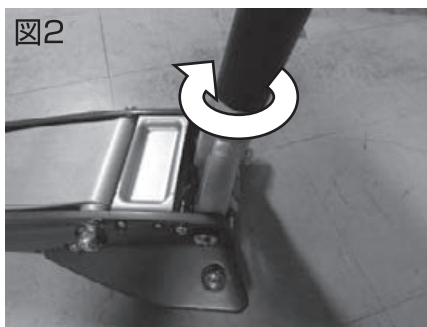
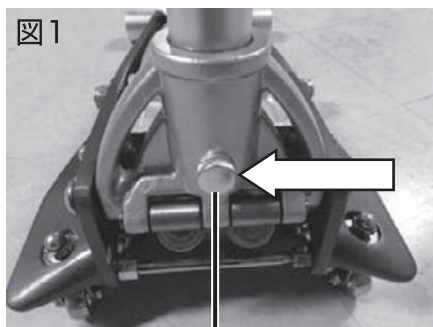
★純正ジャッキ用のポイント(右図　部分)で本製品をしようすると、車両を破損させるおそれがあります。このジャッキポイントでのご使用は絶対におやめください。

●本製品は規定の使用温度範囲(-20℃〜+45℃)で使用してください。
●安全のため、別売りのジャッキスタンドで支えながら作業してください。
●ジャッキを持ち運ぶ際や、ジャッキの上げ下げの際に、ジャッキの可動部分で指等を挟まないよう注意してください。
●ジャッキアップする時以外は、レバーを本体から外しておいてください。
●ジャッキアップ中にジャッキポイントとサドルがずれることがありますので、時々確認しながら作業を行ってください。
●ジャッキを下げる際は、必ずゆっくりとレバーを回してリリースバルブを緩めてください。速く緩めると車両が急に降下して大変危険です。
●ジャッキアップする際は、その車両の指定ジャッキポイントを必ず確認してください。指定以外のポイントでジャッキアップすると、その部分が破損するおそれがあります。

2 各部の名称

3 本製品の仕様

最大耐荷重	2トン
適用車両	2トン以下
寸法(W×H×D)	670×310×163
揚程	最低位 87mm
	最高位 440mm
使用温度範囲	-20℃ 〜 +45℃
質量	21kg
サドル寸法	φ110mm
レバー長さ	1220mm(2本接続時)
作動油	油圧潤滑油
作動油量	190mL

4 ご使用方法

1.ジャッキを揚げる場合

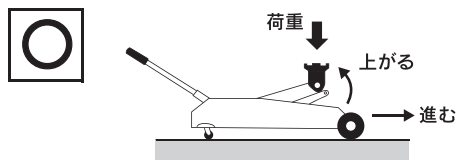
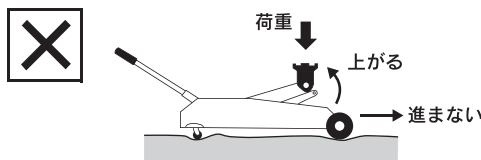
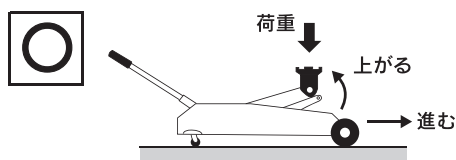
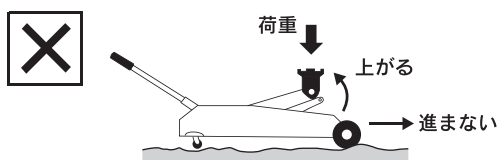
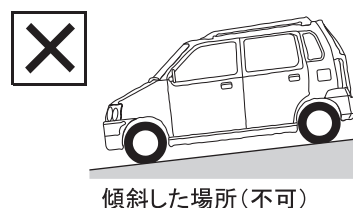
①平らで固い路面にジャッキを置き、車両のジャッキポイントの位置にサドルを合わせます。
②2本のレバーをしっかりと接続してください。しっかり接続が出来ていない場合、リリースバルブを締める際に力がかからず、きっちりと締めることができません。
③レバーをレバーソケットに差し込み、固定ボルトをしっかりと締め、レバーが抜けない様にしてください。(図1)
④レバーを時計回り(右)に回して、リリースバルブをしっかりと締め付けてください。(図2)この時、締め付けが不十分な場合、ジャッキアップしなかったり、下がってきたりしますのでしっかり締めてください。ただし、過度に締め付けると故障の原因になります。

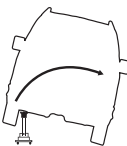
⑤レバーを上下に動かしてサドルをジャッキポイントの近くまで上げて、いったん停止します。
⑥荷重がサドルの中心にまっすぐかかることをよく確認します。(図3)
⑦確認できたら、再度レバーを上下に動かして車両をジャッキアップします。

固定ボルト
（手で回して締める）

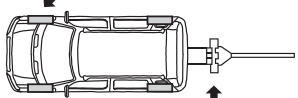
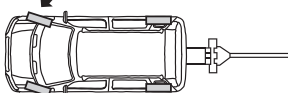
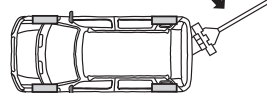
⚠ 注　意

●レバーの角穴とレバーソケット内部の角軸の向きを合わせてハンドルを差し込んでください。
●レバーを引っぱり、抜けないか確認してください。抜ける場合はレバーの角穴とレバーソケット内部の角軸の向きを確認してください。

⚠ 警　告

●ジャッキポイントは車種によって異なります。自動車に添付の取扱説明書、または自動車メーカー・販売店等へ問合せし、必ず事前に確認してください。
●自動車メーカーの指定するジャッキポイント以外では、ジャッキアップしないでください。車体が変形したり荷重バランスの崩れにより**重大な事故**につながります。
●傾斜地や地面が軟弱な場所および平坦でない場所やジャッキの車輪が容易に回らない場所では使用しないでください。ジャッキが傾いたり、サドルが外れて自動車が落下し**使用者が死亡したり負傷を負う危険があります。**
また、傾斜地ではジャッキアップ中に**自動車が動きだして重大な事故になります。**

⚠ 危　険

●サドルを上昇・下降させた時に、ジャッキが追従して移動することを確認してください。移動できないまま使用すると、サドルがジャッキポイントから外れ、自動車が落下し死亡事故や重傷を負う危険があります。

⚠ 警　告

●ジャッキアップの際は、車のタイヤをまっすぐの状態にして、ジャッキを車体に対してまっすぐにいれてください。ジャッキの向きが斜めになっている状態でジャッキアップした場合、サドルがジャッキポイントから外れ自動車が落下し使用者が死亡したり重傷を負う危険があります。

●サドルを上昇させて、サドルが車体に当たった時点で一時停止させて、サドルが車体のジャッキポイントの正しい位置(荷重の中心がサドルの中央にかかる位置)にセットされていることを確認してください。セットする位置がずれていた場合、車体が変形したり、荷重バランスの崩れにより重大な事故につながります。
●重たい荷物や人を乗せたままジャッキアップしないでください。
●自動車のエンジンをかけたままで使用しないでください。
●ジャッキが上昇しない場合や、ジャッキが下がってしまう場合は、リリースバルブがゆるんでいる可能性がありますので、レバーを右回りに回してリリースバルブをしっかりと締めてください。
●変速ギヤはオートマチック車の場合は「P」に、マニュアル車の場合は「ロー」または「バック」に入れてください。

2.一定の高さで停止する場合

ハンドルの上下操作を停止すると、サドルが自動車を保持したままの状態になります。

⚠ 警　告

●ジャッキアップした状態のままで車体の下には絶対に入らないでください。車体の下に入って作業する場合は必ず十分な耐荷重のある別売のジャッキスタンドを使用してください。
●ジャッキアップした状態のままで自動車を移動させたり、車体に衝撃を与えないでください。
●ジャッキアップ中はレバーを回転させてリリースバルブを締めたり、ゆるめたりは絶対にしないでください。

3.ジャッキを下げる場合

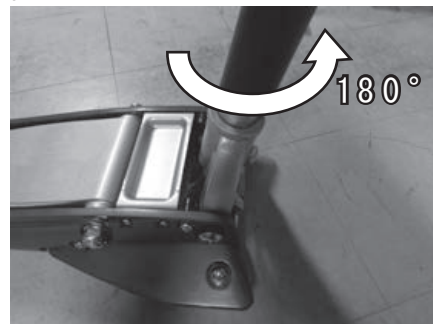
レバーを反時計回り(左)にゆっくり回しサドルを下降させてください。
その際、絶対に180　°(半回転) 以上回さないでください。(図4)
オイル漏れや故障の原因になります。

図4

⚠ 警　告

ハンドルを急に回さないでください。サドルが急激に降りると自動車が落下し使用者が死亡したり重傷を負うおそれがあります。

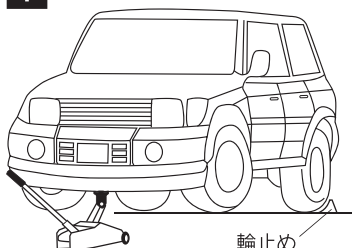
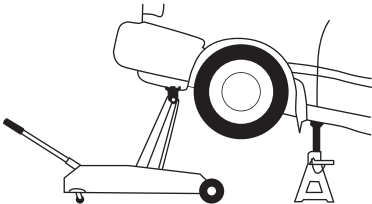
⚠ 注　意

オイル漏れや故障の原因になりますので、レバーは180　°(半回転)以上回さないでください。オイル漏れや故障の原因になります。(図4)

4.作業終了

作業が終了したらサドル、リフティングアーム等に付着した泥、オイル、グリス、水滴等の汚れをきれいにふき取ってください。

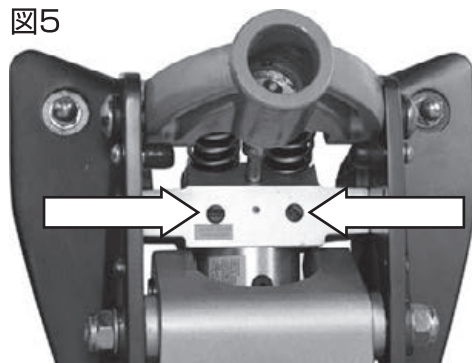
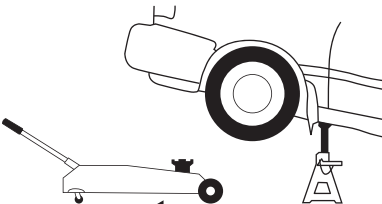
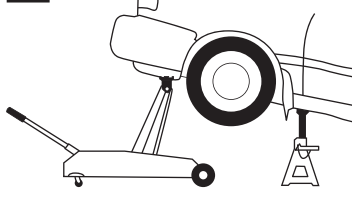
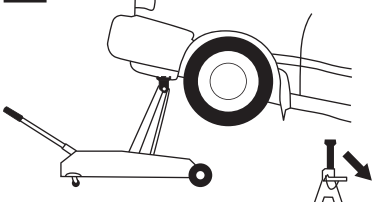
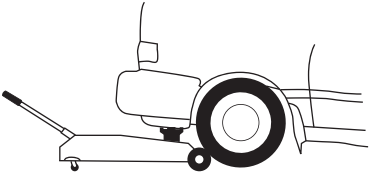
5 安全バルブについて

●安全バルブはジャッキアップが適正な荷重になるように出荷時に調整されておりますので、絶対に触らないでください。(ジャッキに適正荷重以上の負荷がかかった場合、作動しない様になっています。)(図5)

図5

⚠ 注　意

●本製品をご使用の際は、必ず2t以下の車両にてご使用ください。
●車両をジャッキアップしたままの状態で触らないでください。
●ジャッキアップしたまま車両の下に絶対に潜らないでください。
　大変危険です。

●**本製品はジャッキアップするためにご使用いただくものです。ジャッキアップ状態を保持するためのものではありません。ジャッキアップした状態での作業は必ず別売のジャッキスタンドをご使用ください。**
●**車両の下で作業する場合は必ず別売のジャッキスタンドを使用してください。**
●本製品は業務用には使用しないでください。
●ジャッキを下げる際はバルブを必ずゆっくりと回し、緩めてください。(急に回しますと、車両がいっきに下がりますので危険です。十分ご注意ください)

6 ジャッキアップ手順

1

①ジャッキを使用してセンターでジャッキアップします。
●ジャッキポイントは必ず確認してください。また、必ず輪止めをしてください。

2

②ジャッキスタンドをジャッキポイントに高さを合わせて置きます。

3

③ジャッキを下げて移動させます。
●車体がジャッキスタンドで完全に固定されていることを確認後作業します。

4

④作業が終わったらジャッキで車体を再度ジャッキアップします。

5

⑤ジャッキスタンドを取り除きます。

6

⑥ジャッキをゆっくり下げます。

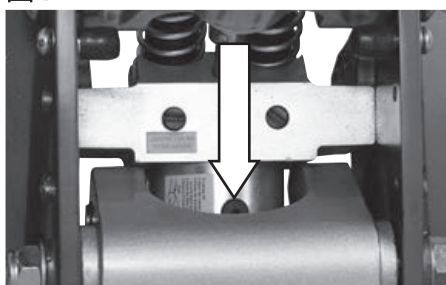
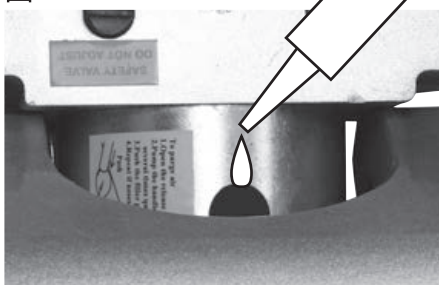
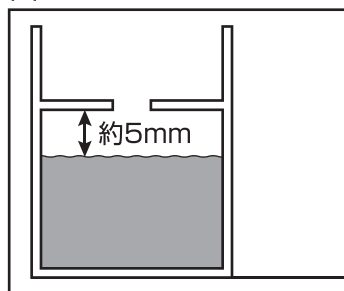
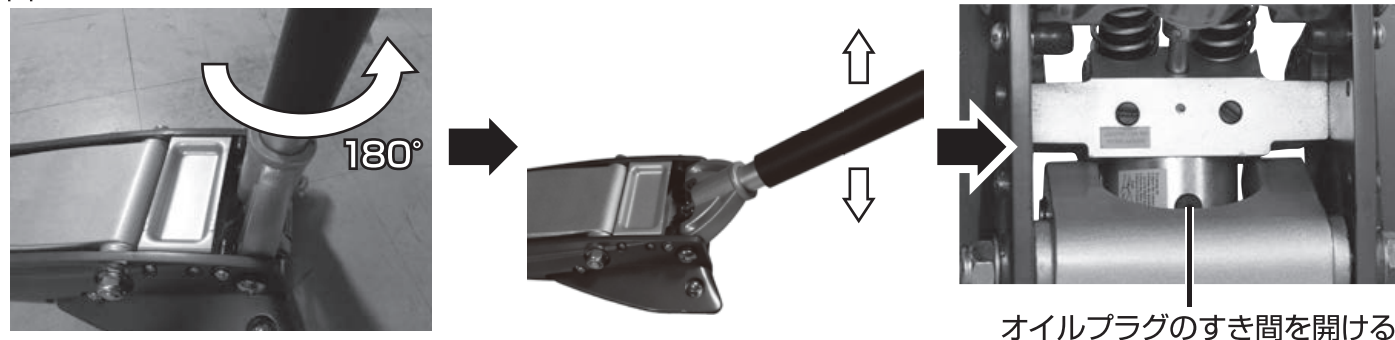
7 メンテナンス

1.ジャッキのお手入れ

①ジャッキを使用しない時は、錆などによる動作不良防止のため、リフティングアームおよびレバーソケットを最下部まで下げておいてください。
②ジャッキは常に清潔にして、可動部分に時々注油してください。

②ジャッキは常に清潔にして、可動部分に時々注油してください。
③オイルの量が減少した場合、下記ジャッキオイルの補充および交換図を参照の上、適量を補充してください。
④頻繁にご使用になる場合、良好な状態を保つ為、約1年毎にジャッキオイルを交換してください。(下記ジャッキオイルの補充および交換図参照)
⑤錆や動作不良などの故障の原因になりますので、雨や雪の当たるところおよび湿気の多いところには保管しないでください。

2.ジャッキオイルの補充および交換

①プラスドライバーでカバー側面のネジを外しカバーを取り外してください。
②オイルプラグを工具等を使用して外し、レバーを左に回転させてゆるめます。(図6)
③ジャッキオイル(別売)をオイルプラグの穴から入れすぎに注意して少量ずつ注入してください。また、オイル注入中にゴミが入らないように注意してください。(図7)
④ジャッキオイルの適量はジャッキを水平な場所へ置き、リフティングアームを最下位まで下げた状態でオイルプラグの穴から油面まで約5mmの空間を設けた位置です。(図8)
⑤ジャッキが途中までしか上がらないときは、ジャッキオイルの不足またはエアー抜きが完全に出来ていないことが考えられますのでジャッキオイルを適正な量まで補充して、エアー抜きしてください。(図9)
⑥補充作業が終了しましたら、オイルプラグを元の状態に戻してください。

●正常に作動しない時は、2～3回くりかえし行ってください。

⚠ 警　告

●火気のある場所やその近くでオイル交換および補充をしないでください。

⚠ 注　意

●エンジンオイルやその他のオイルは粘度等が違うため作動不良の原因となりますので絶対に使用しないでください。必ずジャッキ専用オイルを使用してください。作動油：油圧潤滑油(粘度：ISO VG15をおすすめします)
●ジャッキオイルを補充する際にオイルタンク一杯に入れるとジャッキが作動しません。必ずリフティングアームを最下位に下げた状態でオイルプラグの穴から油面まで約5mmの空間を設けてください。

8 故障と処置

故障かなと思われる前に、もう一度取扱説明書をよくお読みになり、下記の点検をしてください。それでも状態に変わりがない場合は、弊社お問合せ窓口へご相談ください。

症状	原因	対策
適正負荷で ジャッキアップしない	オイル不足	オイル補充
	リリースバルブがしっかり締まっていない	リリースバルブを確実に締める
	油圧ユニットの故障	弊社お問合せ窓口へご相談ください
ジャッキが上で停止しない (自然に下降する)	オイル不足	オイル補充
	オイル漏れ	弊社お問合せ窓口へご相談ください
	リリースバルブがしっかり締まっていない	リリースバルブを確実に締める
ジャッキが最高位まで 揚がらない	オイル不足	オイル補充
	油圧ユニットに空気混入	エアー抜きをする
ジャッキが最下位まで 下がらない	各部の錆	潤滑剤を注油
	リターンスプリングの錆、へたり	リターンスプリングの交換
	油圧ユニットに空気混入	エアー抜きをする

9 関連商品

タイヤ
ストッパー

ジャッキスタンド

株式会社 MonotaRO
http://www.monotaro.com/
TEL:0120-443-509

MADE IN CHINA